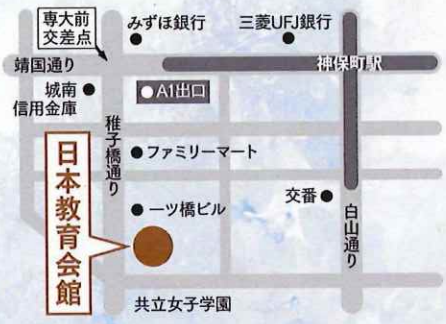
関東大震災103年
朝鮮人虐殺の真相究明を求める集会

2026年
8.29（土）
13:30 開始 ／ 16:00 終了予定

日本教育会館 8階 第一会議室

● 資料代：1,000円



●東京メトロ半蔵門線・都営新宿線・都営三田線
神保町駅（A1出口）下車徒歩3分
●東京メトロ東西線
竹橋駅（北の丸公園側出口）下車徒歩5分
●東京メトロ東西線
九段下駅（6番出口）下車徒歩7分

特別講演 『差別と虐殺に抗うために』

関東大震災直後に起きた朝鮮人虐殺から100年以上の月日が経ちます。「災害による混乱」だけで語れるものではなく、背景に根深い差別が存在していました。現代の日本社会でもヘイトクライムは絶えません。また世界に目を向ければ、イスラエルがパレスチナ人虐殺を続けており、日本政府はそのイスラエルに加担してきました。過去の加害の歴史やその責任と向き合えない国家が、現代の不条理を止める力を持ちえるでしょうか。歴史、そして私たちが立つ現在地を、取材を通して紐解きます。

安田菜津紀 フォトジャーナリスト

1987年神奈川県生まれ。認定NPO法人Dialogue for People（ダイアローグフォーピープル/D4P）フォトジャーナリスト。同団体の副代表。16歳のとき、「国境なき子どもたち」友情のレポーターとしてカンボジアで貧困にさらされる子どもたちを取材。現在、東南アジア、中東、アフリカ、日本国内で難民や貧困、災害の取材を進める。東日本大震災以降は陸前高田市を中心に、被災地を記録し続けている。著書に『国籍と遺書、兄への手紙　ルーツを巡る旅の先に』（ヘウレーカ）、他。上智大学卒。現在、TBSテレビ「サンデーモーニング」にコメンテーターとして出演中。

活動報告

● **西崎雅夫**（一般社団法人ほうせんか理事）
――「生存者の音声証言−1983年韓国での聞き書きから−」

● **金英功**（弁護士）
――「クルド人に対するヘイトスピーチの現状と対抗」

● **北風隆一・辛悠奈**（日朝青年学生全国ネットワークトルパ）
――「歴史を受け継ぎ、未来へつなぐ」

オンライン配信も実施します。

左記の二次元コードよりお申し込みください。

お申込期限
2026年8月28日（金）17時迄

主催：日本と朝鮮を結ぶ全国ネットワーク/関東大震災朝鮮人虐殺を検証する有志議員の会/
関東大震災朝鮮人虐殺犠牲者追悼と責任追及の行動実行委員会

お問い合わせ先 フォーラム平和・人権・環境 Tel：03-5289-8222 Fax：03-5289-8223 E-mail：office@peace-forum.top